

CASBEE[®]広島

(2010年ver. 1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小町ビル新築工事	階数	地上4F
建設地	広島県広島市中区小町2-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	240 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年10月 予定	評価の実施日	2013年2月18日
敷地面積	973 m ²	作成者	大成建設(株)玉井麻由子
建築面積	775 m ²	確認日	2013年2月18日
延床面積	2,914 m ²	確認者	大成建設(株)高橋章夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.2

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 1.3	スコア = 3.3
設計の計画上特段に配慮した事項 外皮に断熱材を採用することで建物の熱負荷を抑えている。// LED照明の採用 // 事務所にOAフロアを採用 / 設備の高効率化による	設計の計画上特段に配慮した事項 / 駐輪場・駐車場設置	設計の計画上特段に配慮した事項 内装材の建材は耐用年数の長いものを採用 / 主要配管材は耐用年数の長いものを採用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい